



新宿山吹だよりは、保護者の皆さんにも読んでもらって下さい。

## 宇宙カレンダー

校長 永浜 裕之

今年はカレンダーを眺めることが多い年になっています。

「夕方頃にまとまる新型コロナウイルス感染者の数を知り、カレンダーを見て2週間前の出来事を思い出す。大勢の人と行きかう機会があった日は、2週間後は何月何日になるのかを考える。」こんな日々が続きます。

さて、皆さんは、「宇宙カレンダー」という言葉を聞いたことはありますか。

「宇宙カレンダー」は、カール・セーガンというアメリカの科学者が『エデンの恐竜』という本で示したアイデアで、宇宙が誕生してから現在までを、イメージしやすくするために、1年に縮めて表現したものです。

宇宙が生まれたのは約138億年前だということが研究でわかっています。でも、そう言われても数字が大きすぎてピンときません。そこで、138億年を1年に縮めてカレンダー風書き直したものが宇宙カレンダーです。つまり、宇宙の始まりを1月1日として、どんな出来事が何月何日に起こったかを表してあるわけです。

この宇宙カレンダー、なかなか面白いですよ。1月1日に宇宙が始まり、地球が誕生した46億年前は、8月31日です。夏休み最後の日になってやっと地球が誕生します。海が誕生したのは9月16日。大気中に酸素が増えてきたのは11月3日です。恐竜が生まれるのは12月25日、クリスマスです。そして、人類が誕生するのは、何と12月31日、大晦日の20時48分。紅白歌合戦、真っ盛りの時刻です。さらに言うと、キリストが生まれたのが、23時59分56秒。もう新年に向けたカウントダウンの最中です。

ちなみに、私が生まれたのは、23時59分59秒88。皆さんが生まれたのは、23時59分59秒〇〇です（計算してみましょう）。人間の一生は、このカレンダーの上ではたった0.2秒に過ぎません。まさに一瞬です。

皆さんは、今の話にどんな感想を持つでしょうか。天体観測などをして、宇宙のことを考えるような、大きなスケールでものを見ると、普段とは違った気持ちが沸いてくるものです。

私は、次の3つのことを感じました。

1つ。私たちはいろいろ悩み苦しむことが多いけれども、そんな悩みなんて宇宙から見たら何てちっぽけなんだろうということ。2つ。人間の一生は何て短く、それだけに、毎日のこの一瞬一瞬は何て尊いのだろうかということ。3つ。私たち人間同士の出会いは何て奇跡的なのだろうかということ。

私たちは12月31日23時59分59秒に生まれなければ出会えなかった。1秒前に生まれても、1秒後に生まれても今の出会いは無かった。とにかく0.2秒ずれたら、もう絶対に出会えないのです。まさに、「今日」という日が毎日やってくるのも、「明日」という日を授かるのも、日々の暮らしの中で私たちが会おうのも、みんな奇跡なのだと思います。

それでは、私たちは、この奇跡的に授かった人生をどう生きればいいのか。

私は、「奇跡的に授かった人生を、謙虚な気持ちで、かつ前向きに、生きることが大切ではないか」と思っています。「今日」という日がやってくること自体に感謝すること。その中で小さな幸せを多く見つけること。めぐり合った人たちとの絆を大切に育んでいくこと。そして、目の前の一瞬一瞬にベストを尽くすこと。そんなことが大切だと思います。

また、私たちは奇跡的に出会った訳ですから、お互いを大切にしていきたいですね。

仲良しの友だちは、毎日を輝かせてくれます。頼れる先輩は、自分を支えてくれます。そして、気の合わない人は、自分を成長させてくれます。私たちは、さまざまな「出会い」に感謝し、友だちをもっともっと大切にしていきたいものです。

野球をやっている人は、よく「一球入魂」という言葉を使います。一球一球に魂をこめるという意味です。

日々の一瞬一瞬を大切に、そして、そのことが皆さんの成長につながる日々になることを願っています。

## 「ゆずりは」

大阪府出身の河井醉茗（1874-1965）が書いた「ゆずりは」は、皆さんが小学生の時に学習した詩です。大人は子どもに様々なものを託す為生き、また、子どもは大人にたくさんものを託されて生きているのだということが、柔らかい詩の中に込められています。

「ゆずりは」という植物は、漢字で書くと「譲葉」です。新しい葉が出来て、そのあとに古い葉が落ちていくことから、後世に譲るという意のこの名がつけられています。大人が子どもの成長を見届けて去って行くような、そんな一生を迎えるのが「ゆずりは」です。

「きと去れる 我を育てし古き葉よ 託しにけりや ゆずりはのごと」

小学生の時に学んだ詩を、高校生の今、読み直してみると感じ方は変わるものでしょうか。

### ゆずりは

こどもたちよ、これはゆずりはの木です。  
このゆずりはは 新しい葉ができると  
入れ代わって古い葉が落ちてしまうのです。  
こんなに厚い葉 こんなに大きい葉でも 新しい葉ができると無造作に落ちる、  
新しい葉にいのちを譲って。

こどもたちよ、おまえたちは何をほしがらないでも  
すべてのものがおまえたちに譲られるのです。  
太陽のまわるかぎり 譲られるものは絶えません。

輝ける大都会も そっくりおまえたちが譲り受けるものです、  
読みきれないほどの書物も。みんなおまえたちの手に受け取るのです、  
幸福なるこどもたちよ、おまえたちの手はまだ小さいけれど。

世のおとうさんおかあさんたちは 何一つ持っていない。  
みんなおまえたちに譲っていくために、いのちあるものよいもの美しいものを  
一生懸命に造っています。

今おまえたちは気がつかないけれど ひとりでいのちは伸びる。  
鳥のように歌い花のように笑っている間に 気がついてきます。

そしたらこどもたちよ、もう一度ゆずりはの木の下に立って  
ゆずりはを見る時がくるでしょう。

河井醉茗『花鎮抄』より

皆さんの成長を期待しています。

定時制課程 学校行事予定

8月8日（土）から8月23日（日）まで 夏季休業日  
8月24日（月）授業開始  
8月25日（火）1限～4限 2学期転学・編入学入選  
5限より授業開始（4限まで登校禁止）  
29日（土）13:00-16:00 学校見学会

通信制課程 学校行事予定

8月8日（土）から8月23日（日）まで 夏季休業日  
28日（金）1限～4限 2学期転学・編入学入選  
5限より授業開始（4限まで登校禁止）